

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	オリーブ				公表日	令和8年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	人数が多い時は、戸外に出て体を動かして過ごしたりする。 子ども達の活動により、仕切りを作る。 個別のスペースを必要とする利用児のためにパーティションを作り、活用している。	人数が多いと、それぞれの療育に不安があるが今は適切に感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	既定の人員配置以上に職員を配置しているが、利用児の様子により一時的に人員不足を感じることがあり、すぐに応援を依頼して対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	事業所入口までに屋外階段があるが、無理せず上がることができる。自立訓練の場としての利用もある。 クールダウンに使用できる個室の用意している。また、集中できるようにパーティションを使って支援することもある。	事業所入口までの階段が急で狭い。 階段の手すりが金属のため、外気温によって冷たすぎたり熱かったりと使用しにくい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	子どもが来所する前に清掃している。 子ども達も使う手洗い場は職員にとっては少々洗にくい子ども達は不便な姿はないように感じる。	トイレのペーパーの位置が子どもによって、手が届きにくい。 体の小さな子だと便座に座ったままトイレットペーパーに手が届かない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	活動室とは別室に置き、心地よく過ごせるよう心掛ける。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	様々な職員が協力してPDCAサイクルを回しているように感じる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に2回、職員会を行い、情報共有及び業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0		外部評価は行ってない。評価はされていないが、外部の方（養護学校・療育支援センター）が来所された際にアドバイスをいただいている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	外部講師による研修を行っている。（月に一回） 研修・講習・講義（オンラインも含め）など職員の資質向上のための研修案内が周知されるため、より多くの研修等に参加することができる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	適宜、支援プログラムを公表してくれている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	制作時、個々で選択できる物を用意している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	日々、子ども達の様子を伝えるなかで、児発管がサービス計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	職員間で計画書を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	個々に応じたボード表を用意している。	

	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	季節に応じて色々な活動を考えて職員間で様々な企画のアイデアを出し合っている。祝日のイベントには誘うことも。	製作は取り入れているが、今後は運動・集団遊びを取り入れていくことも必要である。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	話し合いは密に出来ているように感じる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録をとるだけでなく定期的に見直して検証し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8	0	視覚支援を工夫して作成している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校での様子、事業所での様子を法人本部と事業所で共有したうえで、学校とも共有している。連絡調整は、メッセージアプリ等も活用している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	該当なし	該当なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	地域の児童発達支援センターへの見学、利用児の情報共有を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	年1回実施している。 (地域の児童クラブと合同のクリスマス会)	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	こども部会、仕事部会などの部会に積極的に参加している。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	適宜、保護者と話をしたり連絡帳でのやり取りを通して共通理解できているように感じる。 連絡帳の利用。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	年に5～6回のペアレントトレーニングを講師の先生を招いて法人主催で実施している。	ペアトレをすすめたい家庭はあり、伝えるが参加につながらないケースもある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	日々の送迎や連絡帳等で対応したり面談時に相談員と共に助言や支援の方向性を確認している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	年に3回保護者会を実施しており、保護者同士で交流できる時間を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	氏名等の個人情報が記載されているものは必ずシュレッダーしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	発作があった時、出来たら動画を取る。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	担当の係員を配置して、人形劇やコンサートなどの企画がある際には積極的に地域の方々も招待している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	保護者会での周知と年3回の訓練を行っている。訓練は学期ごと丁寧に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	毎回確認を行っている。	アレルギーは家庭からの情報により得ており、気を付けてはいるが指示書はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット事例は記録を残し、法人内全体で共有し、どの様に対策・改善するのか検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	毎月一回虐待防止委員会を行っている。	毎月行っていることはよいが、内容を充実させていくことが必要である。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	毎月一回身体拘束適正化委員会を行っている。		